

“全員野球”でめざすは 「全日」出場だ!

理学部学生 歌 田 聡



我が体育会軟式野球部は、全日本選手権出場をめざして日々絶えまぬ練習をしています。

東雲グラウンドで、練習は週5日、長期休暇といえ冬休みの2週間と盆休みの1週間くらいで練習量も豊富ですが、今年はさらに、より集中し、密度の濃い練習で……夢の「全日」へ向けてようやく軌道に乗ったところです。

なかなか練習はハードなのですが、どうしてがんばれるのでしょうか?選手に言わせれば、「練習後の爽快感」とか「チームワークのよさからくるもの」などさまざまですが、やはり部員全員みんな野球を“真”から愛しているからでしょう。

我が部の自慢のひとつにチームワークのよさが挙げられます。写真をみれば一目瞭然!体育会行事には当然のごとく全員参加し、練習を離れた場でも和気あいあいとしたムードが漂います。野球は一見個人競技に見えますが実は部員全員で闘う団体競技なのでこれからも大切にしていきたいと思えます。

キャプテンを中心に部員21名、マネージャー5名、計26名で、今年のコピーである“全員野球”で「全日」へ向けて“一球入魂”。

今どきの軟式庭球部

法学部学生 平 岡 孝 道



わが軟式庭球部は、現在、男子28名、女子10名、計38名で、本部と西条に分かれて活動しています。統合移転中のこの時期、クラブの運営は非常に難しいですが、土・日は、お互いが西条に行ったり本部に来たりして、なんとかやっていますが、近々、週休2日制の1日5コマという制度が実行に移されると聞き、まだまだ、頭が痛める日々が続くそうです。

さて、軟庭部の特徴にここで触れておきましょう。わが部は、体育会ながら、コンパで浴びるほど酒を飲まされるといった、体育会にありがちな光景を見ることもなく、上下関係もテニスコート外では、極めてaboutで、先輩、後輩同士で、パチンコ屋に投資しに行ったり、雀卓を囲んで、夜を明かしたり、冬になると、ここはスキー部か?と思うほど、雪山に通うというふうには、勝負に勝つために努力をする体育会的要素と、楽しみといったサークル的要素がミックスされた、ほんとうに居心地の良い部です。いささか、手前味噌になりましたが、実際、そうなのでですから……お疑いになる方は、一度わが部をのぞいてみて下さい。